

ARTISTS' FAIR KYOTO
2022 開催

京都を舞台とするアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2022」が開催される。メイン会場となるのは例年通り京都府京都文化博物館別館および京都新聞ビル地下1階で、3月5日(土)・6日(日)の両日にわたり、ペインティングからインスタレーションまでが展示される。そして今回より新たな試みとして、世界遺産・清水寺で展覧会を開催。同フェアに参加する若手アーティストを推薦する「アドバイザリーボード」に名を連ねる著名作家らの作品が清水寺の西門、三重塔、経堂、成就院で3月5日(土)・13日(日)まで展示される。今後のマーケットに登場する若手作家をいち早く見出せる機会に、今回もコレクターが多く集まるだろう。

【出品アーティスト】：赤松加奈、石毛健太、岩瀬海、彌永ゆり子、陸璋妮 (WEINI LU)、奥村研太



大和美緒「RED DOT (BIO)」2020年 H600×W2400cm

郎、面高慧、川瀬理央、木田陽子、木津本麗、清田泰寛、倉敷安耶、倉知明之介、Goh Uozumi、新宅加奈子、ソー・ソウエン、大東真也、高瀬菜葉、高戸蒼月花、高橋直宏、竹内義博、竹林玲香、谷口智美、坪本知恵、津村侑希、DAVIDYUTO、鳥居本顕史、西雄大、西垣肇也樹、西村有未、Bhagavathi Deepika、林勇氣、藤崎了一、星拳五、堀奏太郎、松岡柚歩、村松英俊、ミシオ、御村紗也、三浦光雅、宮木亜菜、山崎愛彦、大和美緒、油野愛子、吉田紳平、渡辺千明、計46組。

【アドバイザリーボード・ટેイレクター】：井口皓太、池田光弘、薄久保香、大庭大介、加藤泉、金氏徹平、鬼頭健吾、塩田千春、椿昇、鶴田憲次、中村裕太、名和晃平、宮島達男、宮永愛子、矢津吉隆、ヤノベケンジ、Yotta、17組(末尾に*がついている14組が清水寺で作品を展示予定)。

●ARTISTS' FAIR KYOTO 2022 招待券を5組10名様にプレゼントいたします。応募方法は、131頁をご覧ください。

ARTISTS' FAIR KYOTO 2022

【会期】メイン会場：3月5日(土)・3月6日(日)、清水寺会場：3月5日(土)・3月13日(日)

【会場】京都府京都文化博物館別館・京都新聞ビル地下1階、音羽山清水寺

【入場料】共通チケット：2,400円、学生：1,000円(要学生証)、高校生以下無料(要学生証)

※オンラインにて事前予約制

※京都新聞ビル地下1階会場は無料
<https://artists-fair-kyoto/>

NFTオークションハウス
「Totemo」始動

グラフィティとストリートアーティストに特化した世界初のNFTオークションハウス「Totemo」が始動することが発表された。

グラフィティやストリートアートは、その性質上、場所が限定される上、劣化・消失してしまう場合も多い。そこで同社は、グラフィティやストリートアーティストのオリジナル作品をNFTに変換して販売する。

同社は2月5日(土)17時から、原宿のUltraSuperNew Galleryにて初のイベントを開催予定。アメリカのアーティストであるラ・マノ・フリアの初のNFTアートの展示とライブペイントを行い、20時からNFTライブオークションを行う。

2月12日(土)からは西麻布のGALLERY ETHERにて関連する展覧会を行う。こちらは「展覧会ガイド」(137頁)を参照のこと。

NFTライブオークション

【日程】2月5日(土)17時～

【会場】UltraSuperNew Gallery

渋谷区神宮前1-1-0
<https://totemo.art>

上海で複数日本人アーティスト
の作品が同時公開

中国・上海の龍美術館と森美術館が共同企画し、2019年に森美術館で開催された塩田千春の過去最大規模の個展「塩田千春展…魂がふるえる」が、龍美術館・西岸館に巡回中(3月6日)。大

型インスタレーションを中心に、立体作品やパフォーマンス映像写真、ドローイング、舞台美術の関連資料など、塩田の初期から新作まで25年間にわたる創作を振り返る。

同地にある宝龍美術館では、開館4周年記念として最大規模のコレクション展「現代の脈動…宝龍芸術大展」が開催されている(5月18日)。齊白石の「咫尺天涯—山水冊」(1931年)からKAWSの近作まで、中国内外約100名の作品150点以上を出品し、藤田嗣治や草間彌生、村上隆、Haroshi、平子雄一、ロッカクアヤコ、松山智一などの日本人アーティストの作品も展示されている。

また、昨年12月20日に上海市浦東新区にある陸家嘴駅の開通式が行われた。新たに開通した14号線と地下鉄2号線を結ぶ乗り換え通路にはUpper Art(佳卿文化傳播上海有限責任会社)とチームラボが協力して制作した全長112



龍美術館・西岸館での「塩田千春展」展示風景

メートルの巨大な作品「Gold Waves」が常設展示されている。作品はチームラボが三次元上の水の粒子の動きをコンピュータにプログラミングし、波の動きを平面上に作り出している。同作は上海申通地下鉄集団有限責任会社の出資による。



チームラボ「Gold Waves」2021, Digital Installation, W11242×H289cm ©teamLab

お知らせ

●大阪中之島美術館
2月2日に開館。

T530-00005

大阪市北区中之島4-3-1
☎06(6479)0550

訃報

●糸井貫二(いとい・かんじ)、前衛芸術家、21年12月19日老衰のため死去、101歳。